

ふれあい情報

2022年 9月5日 (月) 第350号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



あいさつする人見会長 連合会館3階会議室

日本退職者連合 第1回幹事会を開催

8月31日、退職者連合は第1回幹事会を行い、今年度の専門委員会の設置構成「機関会議の日程」「運動方針の具体化に向けた取り組み」を確認しました。また、9月14～15日に予定の全国高齢者集会、地方代表者会議の実施を確認し、コロナ禍の中での開催となることを踏まえ、感染防止策や体調不良者がした場合の対応方針などについて意見交換を行いました。

人見会長あいさつ



7月の総会以来、厚生労働省や農水省、農水省、

た各政党に対して要請行動を行い、これまでにすべて終了しました。今後は、各地方で自治体要請を行っていただくこととなります。政策制度要求は退連にとって非常に大きな課題ですので、これからもしっかりと取り組みを進めていきたいと思っております。今日、23年度予算の概算要求が締め切られます。今のところ、社会保障関係を大幅に抑制するというような話

は出ていませんが、しっかりとチェックしながら政策制度要求の実現を図っていく必要があります。

9月27日に予定されている安倍元首相の国葬ですが、統一教会と安倍元首相、自民党との関係がこの間いろいろ報道され、自民党に大きな力を持っていたことが明らかになりました。世論調査で国民の50%以上が反対する中、閣議決定で国葬を強行する。安倍元首相個人についても、森友、加計、そして桜を見る会、こうしたことに責任を取らず、国民に説明することもありませんでした。国葬には大きな問題があります。沖縄で県知事選が行われています。私たちは沖縄退連そして連合本部も推薦している玉城デニー候補の必勝を期したいと思います。

9月14日には、全国高齢者集会を実施する予定です。コロナがまだ下火になっている状況ではありません。熱があったり、少しでも体調が悪かったりする方は、参加を見合わせていただくようご協力をお願いします。

全国高齢者集会（9月14日・水）に参加される方へのお願い

コロナ禍の中での開催となります。下記に該当する場合、出席をお控えいただきますようお願いいたします。

- ① 発熱や咳、喉の痛み、くしゃみがあるなど、少しでも体調がすぐれない場合。
- ② 開催日前概ね10日以内に海外への渡航履歴がある、あるいは渡航履歴がある方と濃厚接触した場合。
- ③ 同居するご家族、勤務先等で、新型コロナウイルスに現在感染されている方がいる場合。

*当日はYoutubeによるライブ配信も行います。こちらもご活用ください。

ブロックからの報告

北海道ブロック



峯後幹事

「北海道シニアの集い」を実施する。

高齢者とい

う言葉に違和感がある方もおり、試行でシニアという名称を使ったが、今後さらに検討する。安倍元首相の国葬について、単位組織の中にも連合はきちんと意思表示をすべきだったという声がある。

関東ブロック



遠藤幹事

報告が遅れていることについては、運動体としてのお詫びしたい。各県の

状況については、開店休業と言わざるを得ない状況がある。国葬については、運動体としての考え方を明らかにする能動的な行動を期待したい。連合、退連も怒りを持って動き始めていることを全国に伝えることが必要。

東海ブロック



原田幹事

愛知、静岡、岐阜が11月16～18日にそれぞれ

総会を行う。長野県知事選では推薦した現職が4選を果たしたが、投票率がかろうじて40%で史上最低だった。今後の大きな課題である。長野では10月7日に野田事務局長を講師に研修を行う。

北陸ブロック



小澤幹事

この間の選挙には力を入れたが、結果が伴っていない。この秋にはジェンダー平等も含め、それぞれ学習会を予定している。

近畿ブロック



徳永幹事

明日、近プロの幹事会をやるので、次回には報告したい。京都は9月30日

に30周年の記念式典を行う予定。また、10月20日には近プロのハイキングを、11月25日には総会を予定している。

中国ブロック



升田幹事

コロナもあり、選挙以外の取り組みはほとんどの県で止

まっている。地区連絡会5つのうち3つが役員の死去や退任で次が選出できない状況にあるが、7月からこ入れを始めている。

九州ブロック



檀幹事

延期していたジェンダー平等学習会を9月

21日に野田事務局長を講師に実施予定。高齢者集会は参加者を80人に制限して6月7日に実施した。参院選は現退一致で取り組み、福岡と沖縄で推薦候補が当選。政策制度要求にも取り組んでいる。

「エイジレス・ライフ事業」の表章者をご紹介します

「エイジレス・ライフ事業」とは

正式には「エイジレス・ライフ実践事例・社会活動参加事例」事業と言い、「エイジレス・ライフ」＝年齢にとらわれず自由に生き生きとした生活＝を楽しんでいる個人やグループを表章する、内閣府主催の事業です。

退職者連合は事業目的に賛同し、地域で活動する会員・団体を推薦していますが、22年度は1個人、1団体が表章されました。

★岡山退連 廣畑周子さん

「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」の実行委員長として活動。このフェスタは朝鮮通信使を顕彰するもので、コロナ禍にも対応しつつ、再現行列や韓国領事館の協力も得ながらステージイベントなどを実施している。

★NTT 労組札幌退職者の会 ボランティア「ユーネット」

視覚障害者に対する誘導ボランティアを手始めに、「全国車いすマラソン大会」でのバス移動支援、コースでの撤収支援からリングプル収集、盲導犬協会への募金活動など個人でもできることを中心に活動している。